日本工学院	完八王子専門	学校	開講年度	2019年度	(平成31年度)	科目名	舞踊Ⅲ			
開設学科	声優・演劇科	4		コース名	声優コース		ノトコース	開設期	前期	
————— 対象年次	1年次			科目区分	選択			時間数	60時間	
単位数				授業形態						
	浴衣一式、扇子、手ぬぐい			汉水///心						
担当教員情報										
担当教員	未定                 実務経験の有無・職種									
学習目的										
演劇には日本の時代劇を題材としたものがあり、着物を着て生活をしていた人を演じることがある。学生はこの授業を通して浴衣の着付けを習得し、 和服を着て様々な動きの踊りを踊る。それにより和物の動き、和室での立ち居振る舞いに慣れることができる。また、日本舞踊は老若男女色々な役柄を										
和版を看て様々な動きの踊りを踊る。それにより相初の動き、相重での立ち居振る舞いに慣れることができる。また、日本舞踊は名名男女巴々な伎柄を 演じ分ける芸能であり、この授業でも学生本人の性別に関わらず、立役(男役)と女形(女役)の両方を学ぶ。それは身体表現だけでなく科白(せり										
ふ)も含まれる。それにより演じる役の幅、芸域を広げる。また、日本の和室での礼儀作法を、一年間毎回実践することで無理なく確実に身に付ける。										
この授業では「声優」も「俳優」の一つと見なす。										
到達目標										
全身を使って、立役・女形の両方を稽古することで、それぞれの表現方法の違いを見出し、色々な役柄に対応する力を身に付ける。浴衣の着付けが美										
しくそして早くできるようになり、浴衣で色々な動作をしても着崩れにくい方法を習得し、また着崩れてもすぐに直せるようになる。日本の伝統的な舞										
踊を学び、そこから知識と教養を高める。										
	<u> </u>									
<b>数</b> 自刀丛节		生をきちん.	として おに	かまりれに	- 終わろという	武道からくろ	日木の精油を	知る 浴衣の	の着付けを丁寧にやろ 扇子の扱い	
1 VII 1	まず礼儀作法をきちんとして、礼に始まり礼に終わるという武道からくる日本の精神を知る。浴衣の着付けを丁寧にやる。扇子の扱い 方、見立て(扇子で具体的な色々なものを表現する)を学び、舞踊の中にもそれを活かす。男踊りと女踊りの両方を稽古する。その際に自									
授業概要	分が踊るだけでなく、学生同士お互いの踊りと注意された箇所を修正する様子を見て、切磋琢磨していく。歌舞伎舞踊の独特の科白(せり									
	ふ)も勉強する。									
	この授業独特の挨拶の仕方、出席を取るときの約束、荷物の置き方、休憩中の過ごし方、アクセサリー等を外す、などの設定されたルー									
注意点		ルをきちんと守ることを励行する。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。授業計画は浴衣の								
	仕立て上がり <sup>2</sup> 	仕立て上がりや扇子の完成時期により、一部流動的になる。								
	種別	割合					 備  考			
評	試験・課題		礼儀作法、	着付け、	<u></u> 踊りなどすべ	てを総合的に				
評試験・課題80%礼儀作法、着付け、踊りなどすべてを総合的に評価する価平常点20%試験の評価の補助的な意味合い										
方										
法										
授業計画	(1回~15回	])								
								各回の到達目標		
,	2221417			<ul><li>※2019年度は開講しません。</li></ul>						
				7. 2 0 1 .						